（様式１）

**日本アルコール・アディクション医学会 柳田知司賞**

日本アルコール・アディクション医学会理事長　殿

下記の研究業績をもって、日本アルコール・アディクション医学会柳田知司賞に推薦致します

**１．受賞候補者**

　氏　　名：

　生年月日：（西暦）　　　　年　　　　月　　　　日　生（応募年度の3月末時点 　　　　歳）

　所属機関および職名：

　学会入会年月日：（西暦）　　　　年　　　　月　　　　日（会員歴　　　　年）

　連絡先

住所

電話番号 Fax番号：

E-mail:

　略歴

**２．研究業績**

|  |  |
| --- | --- |
| 発表年 | 発 　 表　 論 　 文 　 名 ・ 著 　 書 　 名 等  以下の記載例にしたがって、原著論文、総説、著書（単行本）、学会発表の順に記載してください。原著論文では査読の有無と、主要論文三編を提示してください。  （以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。） |
| 2016  2016  2017  2016  2010  2018  2014  2017 | 以下は記載例です  **原著論文**  Saito T, Higuchi S, Yanagita T et al: The reinforcing efficacy of psychostimulants in rhesus monkeys: the role of pharmacokinetics and pharmacodynamics. J Neurosci 46: 155-162, 2016.（査読 有）  藤宮龍也，斎藤利和，柳田知司ほか．SIAM現象へのアルコール代謝関連酵素の関与の検討．日本アルコール・薬物医学会雑誌 20: 189-196, 2016（査読 有）  **総 説**  Takei Y, Yanagita T: Pathogenesis of alcoholic liver disease. JAMA 17: 54-71, 2017  斎藤利和，藤宮龍也，柳田知司ほか：SIAM現象へのアルコール代謝関連酵素の関与の検討．日本アルコール・薬物医学会雑誌 20: 189-196, 2016  **著書（単行本）**  Ikeda K: The pharmacology of classical hallucinogens and related designer drugs. In Ries RK, Miller SC, Saitz R (Eds): Principles of Addiction Medicine, Fourth Edition, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, pp215-230, 2010  岡村智教：高齢者脂質異常症診療ガイドライン2017．斎藤利和，柳田知司編：衛生学・公衆衛生学，中山書店，東京，pp235-256，2018  **学会発表**  Miyata H: Structure of craving in nicotine addiction. Symposium (Clue to the Next Decade of Nicotine Dependence Research). 16rd International Society of Addiction Medicine Annual Meeting, Yokohama (Japan), 2014, 10, 4.  近藤あゆみ，嶋根卓也，松本俊彦ほか：多様化が進む依存症回復支援施設の現状と課題 薬物依存症回復支援施設のDARCと刑務所・保護観察所との連携．第52回日本アルコール・アディクション医学会学術総会，横浜，2017,9,8． |

**３．アディクション領域への貢献度**

**推薦理由（業績の背景、今後の展望を含めて）：**

**推薦学術評議員**　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　　月　　　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　所属

　　　　　　　　　　　　　　　　ご氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印